

しんぐう

新宮順子演奏会

— 春待ちて —

令和六年十二月十七日(火)午後七時開演(六時半開場)

紀尾井小ホール

一、高麗の春

◆賛助出演

水野香盟

一、うぐいす

青木鈴慕

一、軒の雫

安島瑤山
菊地河山

一、春の夜

松下陽子

一、四季の柳

永池あかり
いちようの会

◆おはなし 薦田治子



永池 koto.nagaike@gmail.com

◆入場料 五〇〇〇円(全席自由)

◆取扱い

〇四二二(五一)四八八七(新宮)

■新宮 順子

箏曲宮城社大師範。

幼少より人間国宝の宮城喜代子師と宮城宗家の宮城数江師の許で箏・三絃を習得。

東京新聞主催邦楽コンクール児童部第一位入選。

宮城会コンクール第一位入賞。

東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業及び大学院修士課程修了。

在学中、宮城賞連続受賞。

宮城合奏団として一九七五年度芸術祭優秀賞受賞。

一九七八年 リサイタル開催。

東京藝術大学講師に任命される(一九七八〜二〇一〇)。

宮城道雄記念館講師も並行して勤め後進の指導をし、今日に至る。

一九八五年以降 邦楽を直接耳にしたことのない方を対象に地元(東京)にて、

門人幹部による「箏の音にのせて」を主催し、三回公演する。

一九九六年 開軒三十周年演奏会を主催(新宿朝日生命ホール)。

二〇〇〇年 「箏の音に夢のせて」和楽器の共鳴その一を企画・構成する(長岡市立劇場大ホール)。

二〇〇一年 「箏の音に夢のせて」和楽器の共鳴その二を企画・構成する(長野市民会館大ホール)。

二〇〇五年春 「花びらにのせて」桜前線と共にを四都市にてコンサート。

二〇〇五年秋 「宮城道雄作品の夕べ」今宵月あかりを公演。

二〇〇六年 開軒四十周年演奏会を主催(武蔵野市市民文化会館大ホール)。

二〇〇七年 「宮城道雄作品の夕べ」今宵月あかりを公演(紀尾井小ホール)「昼夜公演」。

「宮城道雄作品の夕べ」今宵月あかりを公演(長野市若里市民文化ホール)。

「宮城道雄作品の夕べ」今宵月あかりを公演(京都府立府民ホールアルティ)。

「かぐはしき哉」を中央会館(銀座ブロッサム)にて公演。

二〇〇八年 「流祖中尾都山と宮城道雄の手付け」都山流尺八流祖の地にてを公演

(京都府立文化芸術会館)「昼夜公演」。

二〇一〇年 「つれづれなるままに」を公演(銀座王子ホール)。

二〇一二年 復興支援「鶯の声も高らかに」を公演(津田ホール)。

二〇一三年 「いろ・色・彩」を公演(銀座王子ホール)。

二〇一四年 「をりふしうつろひて」を公演(銀座王子ホール)。

二〇一五年 「箏の音に夢のせて」和楽器の共鳴その三を企画・構成する(宮崎市民プラザオライトホール)。

二〇一六年 「秋に想ひて」を公演(日本橋公会堂)。

開軒五十周年演奏会を主催(日本橋公会堂)。

二〇一七年 【奉納演奏】檀原神宮(内拝殿)

「大和路を訪ねて」を公演(東大寺金鐘ホール)。

二〇一八年 「いにしへをたづねて」匠の技を公演(紀尾井小ホール)。

二〇一九年 「箏の音に夢のせて」和楽器の共鳴その四を企画・構成する(昌賢学園まえばしホール)。

いちようの会「春の宴」を企画・構成(武蔵野スイングホール)。

二〇二一年 「いにしへをたづねて」絵巻を公演(国立劇場小劇場)。

【奉納演奏】上賀茂神社

「箏の音に夢のせて」和楽器の共鳴その五を企画・構成する

(京都府立文化芸術会館)。

■紀尾井小ホール

東京都千代田区紀尾井町六丁目五号 電話〇三(五二七六)四五〇〇

J R線・東京メトロ丸の内線・南北線 四ツ谷駅麴町口赤坂口(徒歩6分)

東京メトロ有楽町線麴町駅2番出口(徒歩8分)

東京メトロ銀座線・丸の内線 赤坂見附駅D出口(徒歩8分)

東京メトロ半蔵門線 永田町駅7番出口(徒歩8分)

